

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎減量化・資源化の経費

植木剪定材堆肥化事業

【 資源循環課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市内で発生する植木剪定材を堆肥化することにより、循環型社会の形成を目指すため。

効果 植木剪定材を堆肥化することにより、ごみの減量化・資源化が図られるとともに、生成した堆肥を市民へ配布することにより、循環型社会が形成される。

【事業の内容】

(1) 植木剪定材堆肥化事業

- ・ 市民及び造園業等事業者から排出された植木剪定材を、委託業者の中間処理施設まで搬送し、処理を行った。
- ・ 処理を行った植木剪定材を委託業者の堆肥化事業場において堆肥化し、生成した堆肥を市民及び農家に配布した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

植木剪定材の資源化(3-3-2-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
167,562	153,610	151,228		2,382

主な支出内訳

・ 植木剪定材堆肥化事業

植木剪定材受入事業場維持修繕料

451

植木剪定材堆肥化事業業務委託料

139,588



平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) なし
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) なし
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) なし
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) なし

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	植木剪定材を原料とした堆肥については、土壌改良剤として市民等に広く活用されており、循環型社会の形成に大きく恵与しているため、堆肥化事業は自区外で継続していく。今後は、バイオマスとしての活用も視野にいれながら堆肥以外の活用手法についても研究していく。				
担当課長氏名:		資源循環課長 相澤 達彦			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	植木剪定材の資源化については、燃料化などの技術開発の情報収集に努めながら、当面、処理環境の整備された自区外で堆肥化事業を継続していきます。				
担当部名	環境部	部長名	勝山 洋		